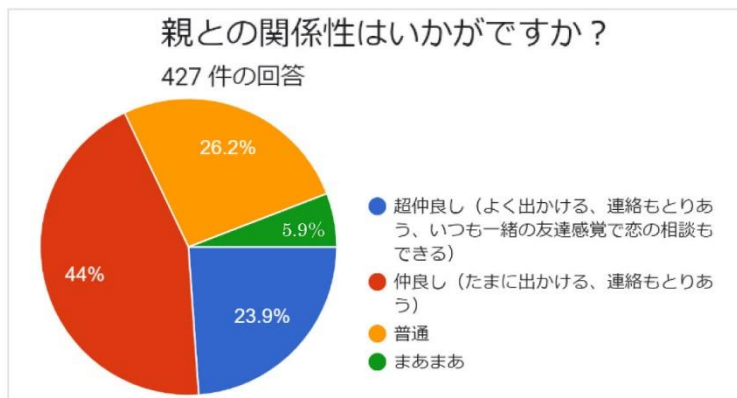


新社会人 GW 帰省を敬遠 コロナで帰省支援延長も 親と会う機会を積極的にサポート

若い世代の親孝行は当たり前 恋愛相談もする超仲良し親子

～ 2020年度新社会人427名の親子関係をアンケート調査 ～

リフォーム事業を中心に3社の子会社を持つ株式会社NEXTAGE GROUPネクステージグループ（本社：東京都港区、代表取締役社長：佐々木洋寧）は、2020年度新社会人427名（うち当社社員27名）を対象に、親孝行への意識や親との関係性に関するアンケート調査を2020年4月に実施しました。



2020年4月実施調査 当社調べ

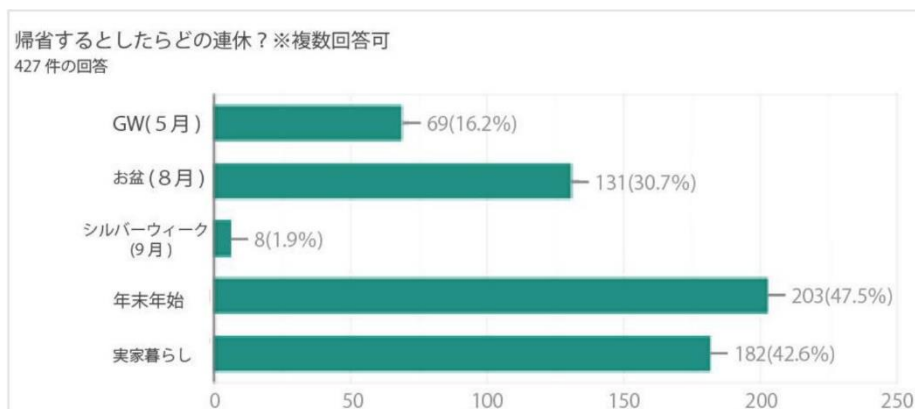
■親とは超仲良し、若者の親孝行は当たり前

「親孝行したいときに親はなし」という昔ながらの言葉があるが当社が行ったアンケート調査によると「親孝行をしている」、または「たまにしている」との回答が82.4%あり、親孝行をするという若者が増えていることがわかります。また、親との関係性については、「超仲良し」、「仲良し」との回答が全体の67.9%で、約半数を超える若者が親との関係の良さを実感しています。中には恋愛相談をする、自分のことを一番理解してくれる親友のような感覚で話せるという意見もありました。

当社では、親に感謝し親孝行できる社員は、人にもお客様にも優しくできると考えており、親孝行を積極的に支援(※1概要あり)しています。今後も当社ではアンケート結果を踏まえて、社会人になっても親との関係性を深められるような取り組みに力を入れていきます。

■親と会う機会を積極的に提供 親孝行手当

当社が行ったアンケート調査によると、就職を契機に一人暮らしを始める若者が多く、その大半がお盆や年末年始に帰省する予定です。平均すると年に2回弱の帰省となり親孝行の機会がなかなか作れないという結果が出ています。また、社会人になって初めての大型連休(GW)に帰省を予定している者は2割弱という結果でしたが、当社では初めての給与で親に感謝を伝えることが大切だと考え、GW休暇こそ親に会いに行くような取り組みと支援を積極的に行っています。当社は親孝行の奨励を通して、相手の立場に立って行動できるような社員の育成に励んでいます。



コロナウイルス感染症の自粛要請の影響に関係なく行われたアンケート調査

弱という結果でしたが、当社では初めての給与で親に感謝を伝えることが大切だと考え、GW休暇こそ親に会いに行くような取り組みと支援を積極的に行っています。当社は親孝行の奨励を通して、相手の立場に立って行動できるような社員の育成に励んでいます。

※今年度は新型コロナウイルス感染症対策、緊急事態宣言を受けてGWの帰省自粛を促し、帰省支援を10月頃まで延長しています。

## 【※1『親孝行手当』の概要】

名称：『親孝行手当』

対象者： 高校、大学を2020年3月に卒業した新入社員

- 内 容：
- ・親への感謝の気持ちの意識向上を目的に、制度が誕生
  - ・入社1年目のゴールデンウィークに、育ててくれた親に感謝の気持ちを込めて食事やプレゼントをすると、実家までの交通費を支給
  - ・昇進時には、親に報告をしに行くための、実家までの交通費と親との食事代を支給
  - ・制度を利用する社員は、親孝行の様子を写真や動画で会社に報告



親孝行の様子を社員が撮影

### —初任給支給日を変更—

当初は初任給の支給が5月末であったため、ゴールデンウィークに親孝行をしたくても帰省する費用がないとの意見もありました。そのため、新入社員の給与支給日を4月末に変更し、その初任給を親孝行資金に充てられる環境をつくりました。